

INFORMATION 活動報告

アーバン・アドバンス68号を発行しました

2017年10月

アーバン・アドバンスは、まちづくりに関わる広範囲な人々の寄稿、都市センターの研究成果、名古屋のまちづくりの情報などを掲載しています。

今号のテーマは「ランドスケープ」です。

名古屋市は、世界デザイン博覧会の開催や、ユネスコのクリエイティブ・デザインシティ認定など、デザインを活かした都市づくりを進めています。今後の都市づくりにおいて、より一層、都市の魅力を高めていくためには、高質な眺望やオープンスペースのデザインなど、ランドスケープはますます重要性を増していくと考えられます。

そこで今号では、ランドスケープを活かしたまちづくりについて考えてみました。

次号、アーバン・アドバンス69号(2018年3月発行予定)のテーマは、「シェアリングとまちづくり」です。モノ・空間・移動などのシェアリングにより、まちがどのように変わっていくかを特集します。



まちづくり講演会

2017年11月16日

第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会開催記念企画として、まちづくり講演会「まちの地域文脈の再発見 -今、注目される地形・歴史・文化を活かしたまちづくり-」を開催しました。



第1部では、基調講演として、全国町並み保存連盟理事長の福川裕一氏に、全国町並みゼミの歴史や、これまでの町並み保存活動についてご講演いただきました。

第2部では、プラタモリ名古屋編、伊勢編、倉敷編の案内人によるパネルディスカッションを開催しました。パネリストより、地形や歴史、文化といった様々な観点から各地域の魅力を紹介していただいた後、まちづくりを未来に繋げていくための「地域文脈」の活かし方についてお話しいただきました。



100名を超える参加者にお集まりいただき、「話がおもしろく、興味深かった」、「様々な視点でまちづくりを考えるヒントとなった」といった感想が寄せられました。

《パネルディスカッション》

コーディネーター：井澤知旦氏（名古屋学院大学現代社会学部長）

パネリスト：浅野 聡氏（三重大学准教授）
千枝大志氏（中京大学文学部学芸員）
藤原憲芳氏（倉敷市学芸員）
木村有作氏（名古屋市学芸員）

平成29年度 賛助会員施設見学会

2017年11月8日

今年度は名古屋駅の南に広がる大規模再開発エリアである「ささしまライブ」を見学しました。

ささしまライブは、旧国鉄笹島貨物駅跡地の約12.4ヘクタールと中川運河船だまり周辺を含む地区からなり、1999年に都市計画決定されて以降、開発が進められてきました。10月には地区内の民間施設がすべて開業し「まちびらき」が盛大に行われました。



当日は名古屋市住宅都市局ささしまライブ総合整備事務所から事業の概要説明を聞いた後、完成

したばかりのグローバルゲートをはじめとした民間開発や堀止緑地などの親水空間、施工中のエリア内を横切る幹線道路の工事現場などを見学

しました。参加者からは、「同地区の歴史的な成り立ちも含め、開発事業について貴重な話が聞けた」、「今後のますますの発展が楽しみである」などと好評をいただきました。



しました。参加者からは、「同地区の歴史的な成り立ちも含め、開発事業について貴重な話が聞けた」、「今後のますますの発展が楽しみである」などと好評をいただきました。